

一日も早く全員が笑顔で

午前中からの出張が終わり、先ほど学校に帰ってきました。今日の分の文章が遅くなってしまっただめんなさい。今日の出張の最も大切な話題は、六月一日から始まる学校再開です。今日は三年生の国語について書く番ですが、一日だけそれを遅らせてくださいね。また、私の文章は教頭先生がHPに乗せてくれますが、私が遅かったばかりに明日載せることにしました。重ね重ね、ごめんなさい。

先日新聞に、コロナウイルスは「収束」はしつつあるけど、「終息」はしていないと書いてありました。まさしくその通りです。新規の感染者は少なくなりましたが、ゼロではありません。コロナウイルスは消えたわけではないのです。

そんな中で、準備登校や学校再開が目の前に迫っています。私たち職員は、瑞浪市に感染者がいないことや生徒のみなさんが今元気であることに決して安心しないで、これからみなさんをウイルスの脅威から守っていきたいと考えています。

現在の状況から、昨年度までと同じ学校生活はできません。中止や延期、縮小や変更が、今後あるかと思えます。しかし、今できる限りの感染防止策を講じて、皆さんの学校生活をできるだけ希望に満たすものにするために私たちは努力します。

今日の出張では、長い休校が児童生徒に少なからずの不安をもたらしているという話題が出ました。まさしくそうだと私も思っています。

2、3年生にとっては、これまで通いなれた中学校のはず。1年生のにとっては、希望に満たした中学校のほず。学校という場所は本来そうでなければなりません。そういう学校の本来の姿を取り戻すために、生徒と職員が一つになて頑張っていきたいと思えます。

昨年度取り組んだ「ハイタッチあいさつ」「あいさつロード」の取り組みが懐かしいですね。一日も早く全員が笑顔で登校できるように頑張りますよー！



(五月十九日 記)